

教員情報（教職課程 非常勤講師）

① 氏名	金子真理子
② 最終学歴	京都教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程
③ 学位	修士（教育学）
④ 担当科目	教育相談と学校カウンセリング
⑤ 主な業績 (著書・論文)	<p>【論文・報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「枠に収まりきれないエネルギーを持つ小学4年生女兒とのプレイセラピー」京都教育大学心理教育相談室紀要第13号 pp.19-25 2015年 ・「中学生から見た心理的家族機能と学校適応感の関連について」平成21年度京都教育大学教育学研究科修士論文 2010年
⑥ その他	臨床心理士 公認心理師

教員情報（教職課程 非常勤講師）

① 氏名	全 京和
② 最終学歴	京都大学大学院教育学研究科教育科学専攻博士後期課程修了
③ 学位	修士（教育学）
④ 担当科目	教育課程論①②、教育の方法及び技術（情報通信技術の活用含む）①②、特別活動論①②、道徳の指導法①②
⑤ 主な業績 （著書・論文）	<ul style="list-style-type: none"> ・（共）「第 3 章 韓国における国際バカロレアの展開」『グローバル人材育成と国際バカロレア － アジア諸国の IB 導入実態 －』東信堂 71-96 頁、2018 年 ・（単）「「特別の教科 道徳」の質的転換に関する一考察 － 人性教育（Character Education）の充実を図る韓国の取組みを手がかりに －」京都大学学際融合教育研究推進センター『地域連携教育研究年報』第 3 号 61-74 頁、2018 年 ・（単）「学習者中心の学級づくりに向けた特別活動と学級経営に関する予備的考察 －「ヨコ」と「ナナメ」の関係の質を高める「ピア」活動を手がかりに－」京都大学学際融合教育研究推進センター『地域連携教育研究年報』第 3 号 101-107 頁、2018 年 ・（単）「小学校における英語教育の指導・教育方法の改善 － アクティブ・ラーニングを支える教育 ICT の利活用をめぐる韓国の事例 －」京都大学学際融合教育研究推進センター『地域連携教育研究年報』創刊号 121-127 頁、2017 年 ・（単）「韓国における高大接続プログラムの展開 －「先取り学習」としての取組みに注目して－」京都大学学際融合教育研究推進センター『地域連携教育研究年報』第 4 号 107-113 頁、2019 年 ・（共）「第 2 章. 義務教育」（トピック解説：「学習指導要領」「年齢主義と課程主義」）、「第 3 章. 小学校に関する法規定」（トピック解説：「確かな学力と学力調査」「教科書の検定と採択の手続き」「懲戒と出席停止の違い」）『教育法規スタートアップ・ネクスト— Cross-Media Edition』昭和堂、本人担当：全 25 頁、2020 年 ・（共、第一著者）Examining Early Childhood English Education Through the University-Kindergarten Program: Pursuing Field-Friendly Practice 『こども教育研究』第 4 号 53-64 頁、2022 年
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・「大学の質に関する評価指標の国際比較:日本・韓国・中国・モンゴル・インドの事例」第 24 回三大学セミナー 於 九州大学 2017 年 10 月 14 日（発表者代表） ・「京都大学におけるアクティブ・ラーニング型授業の成果と課題－地域（京都）を志向した教育プログラムに注目して－」第 25 回大学教育研究フォーラム 於 京都大学 2019 年 3 月 23 日

教員情報（教職課程 非常勤講師）

① 氏名	高野拓樹
② 最終学歴	信州大学大学院
③ 学位	博士（工学）
④ 担当科目	総合的な学習の時間の指導法
⑤ 主な業績 (著書・論文)	<p>(著書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境クライシスー未来へつなぐ命のバトナー， 高野拓樹， ムイスリ出版， 2016年. ・産官学民コラボレーションによる環境創出， 日本環境学会幹事会編（高野拓樹：担当:第2部第3章）， 本の泉社， 2022年. <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高大連携型教育を用いた探究学習に関する実践的研究ー探究学習に対する生徒のイメージやスキルに影響を及ぼす要因ー， 高野拓樹・松原久・糟野譲司・乾明紀・久保友美・杉岡秀紀・サトウタツヤ， 地域連携教育研究(6)， pp.33-49， 2021年. ・キャリアを展望できる探究活動の特徴：京都府立鳥羽高等学校イノベーション探究Ⅱの実践から， 乾明紀・田中誠樹・竹林祥子・大泉幸寛・ミューリニコラス・杉岡秀紀・高野拓樹・サトウタツヤ， 京都橘大学研究紀要(48)， pp.95-113， 2022年.
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・女子中高生の理系進路選択支援プログラム（JST）研究期間：2020年4月-2024年3月. ・科学研究補助金（JSPS）（基盤C：19K02795）研究期間：2019年-2022年.

教員情報（教職課程 非常勤講師）

① 氏名	堂本雅也
② 最終学歴	龍谷大学 大学院文学研究科 教育学専攻 博士後期課程 大学院博士後期課程履修による単位修得満期依願退学
③ 学位	大阪教育大学 学士（教養）、大阪教育大学 修士（学術）
④ 担当科目	生涯教育論
⑤ 主な業績 (著書・論文)	<p>堂本雅也「宇佐川満の公民館論とその思想的背景：理念的な素朴さと形態的な高度さ」『社会教育学研究』第52巻第2号、日本社会教育学会、2016年、pp.13-23。</p> <p>堂本雅也「市民ボランティアとの関係性から考える社会教育職員の役割とその専門性：大阪市生涯学習推進員制度を事例に」『社会教育職員養成と研修の新たな展望』（日本の社会教育第62集）東洋館出版社、2018年、pp.66-77。</p> <p>堂本雅也「草創期日本社会教育学会における『社会教育』の両義性に関する言説研究：学会年報・学会論集・学会通信を手がかりに」『龍谷大学教育学会紀要』第19号、龍谷大学教育学会、2020年、pp.1-21。</p> <p>堂本雅也「平沢薫の社会教育論における社会的教育への志向性」『龍谷大学大学院文学研究科紀要』第44集、龍谷大学大学院文学研究科紀要編集委員会、2022年、pp.19-34。</p> <p>堂本雅也「枚方テーゼにみる形成としての広義の社会教育：近畿社会教育研究会の論争と福尾武彦の『大衆運動の学習的側面』に着目して」『京都府立大学社会教育研究年報』第7号、京都府立大学社会教育学研究室・京都社会教育研究会、2023年、pp.1-16。</p>
⑥ その他	<p>【委員歴】</p> <p>2018年3月 大阪市東淀川区「学校を活用した地域連携事業業務委託」に係る公募型プロポーザル業務委託先審査選定委員会（委員）</p> <p>2023年5月～2024年3月 堺市子ども青少年局指定管理者候補者選定委員会（委員）</p> <p>【資格等】</p> <p>2009年3月 社会教育主事任用資格に係る単位修得済み</p> <p>2009年3月 図書館司書 資格取得</p> <p>2009年3月 博物館学芸員 資格取得</p> <p>2022年8月 社会教育士（講習）称号取得（文部科学省委託令和4年度社会教育主事講習修了）</p>

教員情報（教職課程 非常勤講師）

① 氏名	西口 利文
② 最終学歴	名古屋大学大学院教育学研究科教育心理学専攻 博士後期課程 単位取得退学
③ 学位	博士（心理学）
④ 担当科目	生徒・進路指導論
⑤ 主な業績 (著書・論文)	<p>【著書】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（単著）『問題対処の教師行動』学文社，2007年 ・（単著）「インターネット社会における生徒指導」ナカニシヤ出版『臨床生徒指導 理論編（学校心理学入門シリーズ3）』pp.81-93，2009年 ・（単著）「生徒指導における教師の言語表現」および「進路指導の理論および方法」ナカニシヤ出版『教職のための課題探究によるアクティブラーニング』pp.38-41, pp.50-53，2018年 ・（単著）「個別の課題を抱える児童・生徒への対応」および「教育相談と生徒指導」ミネルヴァ書房『教職エクササイズ4 生徒指導・進路指導』pp.90-101, pp104-113，2020年 <p>【論文・報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（単著）「問題場面で教師が用いる言語表現に対する子どもの要望度」日本学校カウンセリング学会『学校カウンセリング研究』14号 pp.27-38，2014年
⑥ その他	<p>【資格】</p> <p>公認心理師</p>

教員情報（教職課程 非常勤講師）

① 氏名	三好 豪
② 最終学歴	関西大学人間健康学部人間健康学科卒業
③ 学位	学士（健康学）
④ 担当科目	バレーボール
⑤ 主な業績 （著書・論文）	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーボール初心者・導入における指導（普及） →バレーボール未経験者もしくは経験の浅い生徒に対して、“痛い”“難しい”と感じず、バレーボールのエッセンスを楽しく実感できる指導を行っている。 ・小学生・中学生・高校生へのバレーボール指導（育成） →部活動やクラブチームで活動しているバレーボールのさらなるレベルアップと将来を見据えてサポート・指導を行っている。 ・社会人・ママさんへのバレーボール指導（生涯スポーツ） →社会人・ママさんバレーボールに対して、どのようなフォームや考え方・トレーニングを行えば、生涯にわたりバレーボールを楽しんでもらえるかを具体的に指導。 ・バレーボールの個別指導 →バレーボールはチームスポーツであるが、個人にフォーカスして、バレーボールの個人指導を行っている。内容は依頼主の要望に応える形で行うので、指導内容は様々。 ・バレーボールのオンライン指導 →コロナウイルス蔓延により、現地で実際に指導ができなくなったことをきっかけに、オンラインにてバレーボール指導を行っている。ホワイトボードや文面による指導や、動きや練習例を見本動画として活用したり、実際の子どもたちの動きを動画解説したりして、オンラインでの指導の可能性を広げている。
⑥ その他	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県バレーボール協会公認アドバイザー（令和2年4月～令和3年3月） →滋賀県バレーボール協会公認アドバイザーとして、ターゲットエイジ認定選手（国体候補選手）への指導を行った。

教員情報（教職課程 非常勤講師）

① 氏名	森本 創
② 最終学歴	日本福祉大学大学院社会福祉学研究科社会福祉学専攻修士課程修了
③ 学位	学士（教育学）、修士（社会福祉学）
④ 担当科目	福祉と介護
⑤ 主な業績 (著書・論文)	<p>（単著）「糸賀一雄の実存的発達保障論の萌芽」人間発達研究所『人間発達研究所紀要』第 28 号 pp55-73 2015 年</p> <p>（単著）「『この子らを世の光に』糸賀一雄の福祉思想と障害児施設の課題」一般社団法人全国日本学士会『ACADEMIA』第 161 号 pp21-34 2017 年</p> <p>（単著）「近江学園 70 年のあゆみー『発達保障』の思想と実践の視点からー」人間発達研究所『人間発達研究所紀要』第 30 号 pp32-47 2017 年</p> <p>（共著）『ひとと生まれて人間となるー糸賀一雄研究の新展開ー』三学出版 2021 年 pp139-151 「障害児入所施設から見た子どもの『貧困』」</p>
⑥ その他	<p>社会福祉法人あかつき会 理事</p> <p>社会福祉法人野洲慈恵会 評議員</p> <p>社会福祉法人権の木会 理事</p>